

谷底と富士山

眞繼 雲山

(二)

この人はその人格おそろくはゼロである。それは人間とは生きるといふ意識のために美味を欲求するといふ煩悩が、本能的にはたいてゐるのであるから深く咎むべきではないかも知れないが、同じお櫃の御飯ならば着中も外縁も風味に變りのある筈はない、それを他に先じて眞中を掘るといふのは論理的にみて後の他人に不味を興ふる結果となり、たとへ本能的の意識的にもせよ已れ先づ美味を採りて他に不味を興へんといふは賤しむべき心事とするの外なく、菩薩の行願たる「自未得度先度他」を距ること甚だ遠い、同じ味の漬物であるのに眞中からツマン出して頭部や尻尾を残すといふのも御飯の谷底と似たり寄つたりの心事である、反對に漬物は旨まじうな部分が残してお櫃の御飯は富士山の形に残りゆく家庭ならば先づ、及第点と謂ひつべしである。

更にまた漬物にかける醬油をダブ／＼と注いで後に捨てねばならぬを勿休ないと思へない人は一家の經濟

の榮ゆるためしはない。三錢五錢の釣り銭をあつちこつちに置き忘れるといふ家庭の前途は測り知るべきのみ、米一粒漬物一切醬油一滴の價の大小の價を云ふに

火のついで炭を火消炭に入れると手数はかゝらぬが消費の火力が弱くなる水で消せばあとが十分役立つ

ノット

た炭を火消炭に入れると手数はかゝらぬが消費の火力が弱くなる水で消せばあとが十分役立つ

【朝】みそ汁：豆腐 せり
【晝】信田すし：ごま入り
【晩】わん：うど わかめ 鶏玉子とし

錦繪の書題にお竹如來といふのがある、或る家の下女いつも流し元の御飯粒を流し捨てずに丹念に集めて食しけるが、さる浮氣男彼の女的美貌に言ひ寄らんとして夜陰障子の外に這ひ寄り

しに御光の輝やけるに驚き拜すればまがうかたなき大日如來のお姿にありけるにぞ、件の男勝をつぶしけるとなん、如何さま左程の心事の女中にてあらば美はしくもあり、後光の圓相大日如來の如くでありしならん恩を知り思に報ゆるが人の道、佛の道である、佛道の要諦は感恩生活に始まり感恩生活に終る。 完

定価 一月五拾五銭 半年五拾五銭 一年五拾五銭
電話 六二〇番
印刷所 常磐毎日印刷株式會社

看護婦急派の求めに應じます

平町南町
平看護婦會
電話三〇七番

斯界の權威!!!
大塚の靴

自生編上靴 六圓
女學生半靴 五圓
紳士靴 弊店自慢の流行新形

平町南町
大塚製靴部
電話七七番

金銀高價買入

平町二丁目(三幸堂跡)
根本時計店
電話六〇七番

たしの素直出し

經濟で美味なだしの素を未だ御使用なき御料理店飲食店様及御家庭へ是非おすゝめします。御客様も御家族様もきつと御満足いたします

販賣員募集
新川町新藤屋隣
京一醬油直賣所

玉屋洋品店

平町田町電話六五六番

吸入用酸素純度99%

モノサシ 体温器
マス 寒暖計
ハカリ

●秤ノ取緒・垂糸・修繕致シマス

關内藥局
電話四〇番

質流れ衣裳類 一式

御仕立御祝儀物

三丁目通り
旭屋衣裳店
電話四二五番

耳鼻喉科専門

平町田町七〇番地
山内醫院
醫學士 山内亨吉
電話六九一

應入院 應需

市原醫院

平町田町(電話二一四番)

内科小兒科 市原卯太郎
外科一般、婦人科 市原陸郎
外科梅毒、淋病 市原三三男

入院隨時

長塚村長と助役の

悪業白日下に

出鱈目の補助申請を爲し 縣から七千六百餘圓騙取

料理屋で豪遊

双葉郡長塚村大字長塚字町十一番地元村長江岡榮治(五七)及び同所四十二番地現助役安井實(四六)の兩名に對する

詐欺業務

上横領事件は過般來平支部に於て荒井豫審判事取調中の處本日有罪と決定公判に廻されたので近日中島裁判長係りの下に公判開廷される事になつたが事件の内容は昭和四年五月頃

大洪水の爲め同村大字上羽鳥字澤入地内の溜池が土砂の爲め埋設したので復舊工事の際縣より補助金が交付されるのを奇貨とし兩名共謀實際の費用は三千七百圓にも拘らず一萬二千圓の工費を要すと申請し縣より七千六百三十四圓を騙取した外在職中公

金五百圓を横領し附近の料理屋で豪遊したものであると

山林愛護

平營林署宣傳

造林其他指導

平營林署にては來る三月十日より一週間本縣山林會主催の下に山火事及び病虫害驅除豫防森林の手入保護の爲め第一回山林愛護デーが催されるので右期間中平、植田兩町に於て講話會を開く外各小學校長に山林愛護關する訓話を依頼しポスター等を配付宣傳に努める事になつたが更に山林美化

の運動として左の如き事項に就て指導すると

- 一、造林(新植人工又は天然下種萌芽補植撫育保護設備苗代砂防植栽)に關する事項
- 一、産物利用(主伐間伐造林運材製炭副産物の増殖等に關する事項)
- 一、歩道、馬道其他簡易なる運搬設備の設計又は

平町役場

出納検査

平町役場では七年度の臨時出納検査を明十時より會議室に於いて野崎、萩原、佐々木氏等の検査員立會の上にて執行されると

勿來信用總會

石城郡勿來信用組合總會は明廿日午後一時より小學校に於いて開會專業報告及び本年度肥料の購入等に就いて協議すると

イチゴの栽培の

成功如何に依り

郡下一般に奨励

石城郡神谷農事試験分場では豫てより東北地方には困難とされて居る莓の冬期石垣栽培を試験中であつたが此程順調な成育を見て開花中なので四月下旬頃から結實するものと見られこの結果

果を見て郡下一般に奨励する事になつて居るが此の栽培法は南側に面した處に玉石で傾斜地を築き莓を移植し午前中一回の灌水で成育すると云ふ極めて簡單なものであると

縣主催の統計講習

十五六の兩日平町に開く

縣統計課では來月十五、十六の兩日郡下各町村統計協會員を平町團體事務所召集し十五日は講話會十六日講習會を開き吉田統計課長相澤廣の兩氏が出席すると

好問工事變更 石城郡好問村では七年度匡救事業として近く着工する管であつた同村字川中原地内道路改修工事が年度内に竣功する見込がつかぬので急に宇愛谷江地内道路を工費千餘圓にて着工する事に變更日本平土木監督所に此の旨陳情があつた

組合費の未納

石城郡上遠野村には現在農事實行組合が廿六ヶの多きに及んで居るが各組合とも組合費の未納が多く整理に窮した結果本日午後一時より同村小學校に組合長會議を開き特に郡農會柴田技手を招き善後策を協議する事になつた

主婦の

農家經濟

智識涵養

錦村の講習會

石城郡錦村農會では農家經濟は婦人に智識涵養の要ありと爲し昨十八日より本日迄同村小學校に婦人農事講習會を催したが辨當持參の主婦が八十餘名に達し熱心な講習を受けつゝあると

下山田教諭來任

岡山師範學校教諭下山田尙方氏は過般德島師範學校教諭として轉任された磐城中學校横井勝氏の後任として本日午前八時三十二分への下に來任した

平商卓球選手

平商業學校卓球部にては明日午前十時より第三小學校に於て開催される第二回關東北三人制チーム卓球大會に三年木田英夫四年齊藤三男、柳木秀雄の三名が出場すると

澤渡産馬奨励

石城郡澤渡村産馬實行組合では廿二日午前十時より役場内に於いて役員會を開き産馬奨励金の下附額に就いて打合せをなすと

平町人事

△田町三〇 高木宇平氏二女 富枝
△仲間町五四 草野正氏次

女 孝子

△道匠小路二五 八子光平氏二男 昭風
△鎌田町四四 當時神奈川縣川崎市小田鯨岡七郎氏二女 節子
△鎌田町一五 當時名古屋市南區豊田町宇道徳和知好清氏(三〇)名古屋屋氏南區錦町一ノ三七葛巻てる(二二)

印刷御用命は總て
常磐每日印刷株式會社
電話三六〇番

北海屋の 七ち銘

近日發賣致しますから何卒多少に不拘御用命下さる様御願ひ致します

平一丁目

北海屋製菓部

電話三八八番

- 滋養豊富 味覺佳良ですから御病人の御見舞に最適品。
- 價格低廉 萬人の御口に適しますから一般家庭の御贈答用に最適品。

少年ギャンブルが

今度は詐欺に轉身

釋放された翌日から荒し廻る

最近平町二丁目牛久洋服店
で一人の少年が自分は紺屋
町の佐藤政夫と云ふ者の長
男だと稱し時價十圓餘の子
供オバーを詐取した外同様
手段で荒し廻つた詐欺事件
頻發其數八件に及んだので
平署では同一犯人と目し内
偵した結果去月廿四日市内
各商店學校等より數十件の
窃盜を働いたビストル持參
の少年ギャンブルとして同署
に檢舉された平町八幡小路

進歩著しい

陸軍新兵器

石城郷軍が見學

石城在郷軍人聯合分會では
會員の陸軍新兵器に對する
智識を養ふ爲め各分會より
三名以上の希望者を募つて
新兵器見學團を組織し來月
乃至四月上旬頃東京及び其
附近に於ける陸軍各學校研
究所等を歴訪見學すべく計
畫中である

平第一の

雪中行軍

平第一小學校にては本日午

前十時校門出發各係訓練引
卒の下に左の如く雪中行軍
をなした

- (一年)古鍛冶踏切 公園
- 長橋 研町 縣社女坂
- 歸校(二年)縣社古 鍛冶
- 町 公園表坂 裏坂 研
- 町 紺屋町 歸校(三年)
- 新川端 警察署側 田町
- 歸校(四年)新川端 新川
- 町 田町 歸校(五年)内
- 郷村小島 稅務署側 才
- 梶小路 歸校(六年)小島
- 警察署前 田町 歸校

千代長男加治五郎(六)假名
の所爲と睨み昨十七日自宅
に立寄つた處を取押へ目下
平署で取調中であるが同人
は去月末少年窃盜犯として
平署より區裁判所に押送さ
れたが未成年者の爲め起訴
猶豫となり説諭の上釋放さ
れたのを奇貨とし翌日より
今度は窃盜より詐欺に鞍替
し上流家庭の息子を装ひ各
商店を騙し歩いたものであ
ると

憎い嫁の後を

追つて悴まで

家出した...

姑婆さん搜索願

石城郡内郷村大字宮字白水
居住坑夫福田政吉(三九)は本
月初旬妻トメ(三三)を迎えた
が姑との折合悪く去る十七
日夜も些細の事から口論を
初め姑のフサはトメの頭部
を殴り付けたので同夜九時

頃トメは荷物を纏めて實家
へ歸ると家を飛出したので
夫の政吉も其後を追つて出
た儘兩名共行衛を晦したの
で姑から本日平署に捜査願
を出た

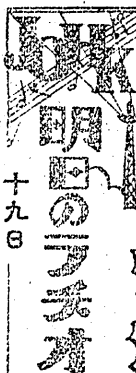
ゴム足袋の賊が

共濟病院に忍入

手提金庫を破る

平町警城共濟病院事務室に
昨夜何者か忍入り刃物で戸
だなの手提金庫を破り現金
一圓を窃取して逃走せるを
今朝發見した届出により平
署で目下犯人捜査中である

が犯人は事務室と病舎との
空地より窓を破つて忍入つ
たものらしく降り積つた雪
の上にゴム足袋の跡を残し
て行つた



今晚は北西の風盛
り明日は北西の風
天氣良くなる

今晚の部

- 後六〇〇 講演「現下の
西蔵國狀」多田等觀
- 後七三〇 「子供の木琴」
獨奏名古屋みどり音楽會
- 々員「粗忽長屋」柳家推
大樓「獨唱」大川澄子「童
話劇」西遊記「木馬童話
劇研究會
- 後八三〇 管絃樂「コロ
催した

ナ、サロネーケスト
ラ
後九〇〇 滿洲より
後九四〇 全國ニュース
氣豫通報 番組豫告

明日の部
前九一〇 榮養料理
「鮎の田樂と慈姑のつく
ね煮」榮養研究所

平商友會が

母校へ記念品

平商友會にては本日午後七
時より菅本會長宅に於て役
員會を開き母校創立二十週

年記念に對する記念品其他
種々催し物に就て協議する
が記念品としては目下の處
會員間に野球バツクネット
ピアノ、オルガン及び大國
旗等が話題となつて居る

庭先の焚火に

灰の不始末から

錦村の農家鳥有

石城郡錦村字御寶殿農山田
新之助方より十七日午前九
時頃發火同十時一戸全焼し
て鎮火したが原因は庭先で
暖を取つた灰の不始末から
であると

現在八圓に迄低下を告げる
に至り郡下取引米で最も信
用あり常に市價よりも高値
に取引される大浦倉庫米す
ら市價より僅か十錢高を辛
ふじて維持して居るに過ぎ
ない

米價は

値下り

現在八圓に

平穀物検査所管内の米價は
本年一月中旬に於いて一時一
俵八圓九十錢を唱へたが其
後下り氣味となり殊に舊正
月頃からは農家の持米投賣
が續いた爲め益々下落して

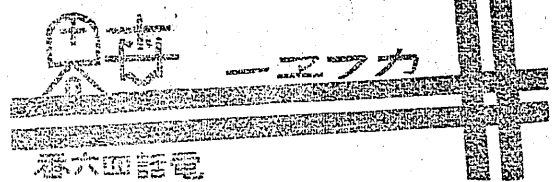
平職業紹介所報告
回人を求める方
△雜夫 二十五才 尋卒
月十五圓(江名町某)
△精米雜夫 三十才 尋卒
給料面談(鹿島村某)
△雜夫 三十才迄 尋卒
給料面談(小名濱町某)

後二二〇 歌澤「紀伊の
國外」歌澤芝田
後二四〇 掛合義太夫
「新版歌祭文」竹本伴龍外
後六〇〇 子供の時間
童話劇「郵便馬車」にはと
り座
後六三〇 講演「近松の
世話物中の主要人物につ
いて」飯野哲二
後七三〇 謠曲「籠」喜多
六平太
後八二〇 新内「鬼怒川
物語」富士松富士廣外
後八五〇 浪花節「乃木
將軍墓參の巻」矢光軒滿
目

△兒守 十四才迄 尋卒
仕着外年十圓(平町某)
回職を求める方
△雜夫 五十才 高卒 給
料面談(河沼郡某)
△鐵工場設計 二十三才
工科學校卒 給料面談
(内郷村某)
△女中 二十才 高卒 給
料面談(川前村某)
△看護婦見習 十八才 高
卒 給料面談(川部村某)

食事

喫茶



電話六四六番

葉先生

【禁傳載上演及映畫】
 悟道軒圓玉演
 近藤紫雲畫
 第二百七十席 千葉周作

鬮を破つて閃く一刃
 千葉周作先生は平手の遺兒
 小一郎に會うて大層喜びそ
 の母に金子又小一郎には忠
 綱の一刀を興へて津の宮の
 柏屋方を立を出で舟にて潮
 來の宮本茶村の許に戻りこ
 れより鹿島神社に參詣いた
 し今度は下總香取郡に入り
 笹川に參つて繁藏の菩提寺
 にある平手酒造の墓に詣で
 それより江戸に戻つて來ま
 した、こゝで一寸申し上げ
 て置きますがかの地にある
 酒造の墓は平田三木と刻み
 付けてあるそゝでございま
 す、しかし平手酒造の方が
 通つてゐますからそれで申
 上げました、次に酒造の伴
 小一郎は後に千葉周作先生
 の許で教育され先生歿して
 後門人の海保半平に就いて
 劍術を修業したが元治元年
 常陸筑波山に武田耕雲齋の
 同志と共に立籠り尊王攘夷
 の旗を翻し戦ひを致した時
 に海保半平が小一郎をばじ
 め百人程伴れて此の軍に投
 じて耕雲齋を助けて目覺し
 き働きを致しました、これ
 は後の事ですが申し上げて
 置く、待て千葉先生は相變
 らず門人を取り立てゝゐた
 當時師範代をして居るのは



眞田範之助、これは強かつ
 たさうで又自分の伴英次郎
 は先生にまさると云はれた
 程劍道にかけての鬼英次郎
 さんがピタリとつけた竹刀
 は竹で拵へたものとは思へ
 〇「左様でございますかこ
 〇「それではお送り申しま
 せう」
 周「それも無駄だ俺は病人
 ではない又送られる程の身
 分でもない、一人で歸る」
 〇「先生雨が降つて参りま
 した」
 周「ア降り出したか」
 〇「お歸りになりますれば
 駕を申し付けませう」
 周「イヤ駕には及ばぬ徒歩
 で參る」
 〇「それではお送り申しま
 せう」
 周「それも無駄だ俺は病人
 ではない又送られる程の身
 分でもない、一人で歸る」
 〇「左様でございますかこ

参りこれに居る門人に目錄
 を許し馳走になつて夜に戻
 る
 〇「先生雨が降つて参りま
 した」
 周「ア降り出したか」
 〇「お歸りになりますれば
 駕を申し付けませう」
 周「イヤ駕には及ばぬ徒歩
 で參る」
 〇「それではお送り申しま
 せう」
 周「それも無駄だ俺は病人
 ではない又送られる程の身
 分でもない、一人で歸る」
 〇「左様でございますかこ

この時エイツと云ふ氣合早
 くも先生がヒラリと身を交
 した後から斬り付けたもの
 がある身を交されたから刀
 は傘を掠めて流れたこの折
 千葉先生がエイツと氣合を
 かけたがその斬り付けた曲
 者がドーンと前へ倒れた。

たこれにて御免を蒙る」
 〇「御邪魚でもございませ
 うがこれをお持ち下さいま
 し」
 と折詰を出した
 周「これは、お手敷をか
 けて済ませ頂戴いたす」
 〇「おそれではお送り申しま
 せう」
 周「それも無駄だ俺は病人
 ではない又送られる程の身
 分でもない、一人で歸る」
 〇「左様でございますかこ

三河産業博覽會 金牌受賞
 昭和産業博覽會 金牌受賞
 製造 製造
 平町一丁目
 電話一四一番

お惣菜用
 さつま揚
 吉原揚
 電話一四一番

醫學博士 渡部 義夫
 醫學博士 渡部 義夫
 醫學博士 渡部 義夫

平町田町大通り(電話二七七番)
 入院應需
 渡部 外科

X 光線科
 性病科
 外科
 平町田町
 安齊外科醫院
 電話四七五番

御料理 八千代
 平町田町 電話三七五番